



連合駿台会報

No.337 平成30年1月15日発行
 発行・編集 連合駿台会
 発行人 広報委員長・齋藤柳光
 編集人 事務局・矢嶋まゆ子
 〒101-0052千代田区神田小川町三十一-二
 明治大学「紫紺館」内
 電話 (〇三) 三二九六一四七四七
 印刷 有限会社 美創

あけまして おめでとーございます

連合駿台会
会長
田村 駿



会員の皆様におかれましては、ご家族の皆様と健やかな新年をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。

昨年は皆様の積極的なご支援ご協力によりおかげさまでもちまして当会の事業運営も順調に推移いたしましたこと心より厚くお礼申し上げます。

昨年の日本は、政治的には与党・自民党が都議選では「小池旋風」で都民ファーストの会に歴史的惨敗は喫したものの、先の衆議院選では3分の2を上回る議席数を獲得して圧勝、安倍一強体制を堅守しました。明るいニュースとしては、将棋の最年少プロ藤井聡太四段(15歳)の公式戦29連勝の新記録達成、陸上では100m走の公認記録で桐生祥秀が

日本人史上初の9秒台となる9・98秒をマーク、2020年の東京オリンピックに弾みを付けました。また、上野動物園では29年ぶりにパンダの赤ちゃんが誕生、大変な人気者になっていきます……しかし、国技である相撲界では横綱の暴力事件で大揺れ、八百長事件に続き大きな汚点を残すこととなりました。

海外では、1月にトランプ米大統領が就任し、T・P・P離脱、次いでパリ協定からも離脱、対北朝鮮ではミサイル、核開発で両国の威嚇競争となり情勢は緊迫度を増しました。そして年末には、エルサレムをイスラエルの「首都」と認定、国連総会の緊急会合で「取り消し」が決議され、最後までトランプ大統領に振り回された1年だったのではない

でしょうか。

さて、わが母校は18歳人口の減少、東京23区の大学定員抑制等により一層厳しい環境におかれ、またグローバル化の推進もあり大学経営が一段と厳しくなってきました。そのような中、今年には「第2期中期計画」(2018年度〜2021年度)がスタート、その着実な履行を通して世界大学ランキング・アジアトップ100へのランクアップを志向し、国際的な水準で評価される大学を目指します。

当会は、昨年最大の目的の一つであります大学への寄与について「大学支援のあり方検討委員会」を立ち上げ24名の委員で9回にわたり幅広くあらゆる角度から検討してまいりました。11月には委員会より答申が出され、その内容について現在協議中であります。

また今年には、我々の前身であります1953年(昭和28年)の「茗水クラブ」の誕生から65周年の節目の年に当たります。「目出度いことは何度やっても良い」とのご意見も沢山いただきましたので会員の皆様に記憶に残り喜んでいただけるような企画を現在検討中であります。皆様の会です。ご意見。ご提案をどしどし事務局の方にお寄せいただきたいと思っております。

最後に会員の皆様のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます、新年のご挨拶と致します。



創立一四〇周年に向けて次なる飛躍を

学校法人明治大学
理事長
柳谷 孝



二〇一八年の新春を迎えるにあたり、謹んでお慶びを申し上げます。連合駿台会の皆様方には、本学に対しまして平素より多大なるご理解とご支援を賜っております。学校法人を代表し、厚く御礼を申し上げます。

昨年は、入学定員超過率の厳格化に加え、東京二十三区内の私立大学定員抑制などの規制が強化され、高等教育機関を取り巻く環境が一段と厳しくなる中、本学も難しい舵取りを迫られました。そのような状況ではありましたが、一般入試志願者が一年連続で一〇万人を超え、「就職に力を入れている大学」ランキングで七年連続第一位になるなど、各所で高い評価を得ることができました。

また、学校法人経営の視点から昨年を振り返りますと、①格付投資情報センター(R&I)からの格付「AA」取得、②企業会計の純利益に相当する基本金組入前当年度収支差額の約一四億六千万円のプラス実現、③収容定員増加の認可と学費改定、④校友・父母・寄付に係る事務体制の統合再編、⑤旧誉田農場用地の売却など保有資産の見直し、⑥和泉

国際混住寮(仮称)の着工決定など、これまでの懸案事項について一定の目的を付けることができた年でもありました。

依然として課題は山積しておりますが、社会情勢を踏まえて本学全体を俯瞰し、優先順位を見極めながら、引き続き教育研究環境の向上に取り組んでまいります。

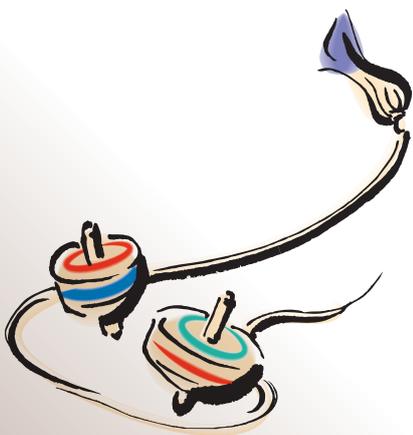
ところで、本年は十八歳人口が再び減少局面となる「二〇一八年問題」の年に突入します。世界の潮流を見ますと高等教育のポータリゼーションが進み、OECD発表では今や国境を越えて移動する学生数は五〇〇万人を超えています。大学間競争がグローバルベース

で激化する中で、本学では来る二〇二一年の創立一四〇周年に向けて次なる飛躍を期すべく、二〇一八年度から二〇二一年度までの行動計画である「第二期中期計画」を策定いたしました。第二期においては、可能な限り数値目標や評価指標を具体的に示しています。その中では世界大学ランキングアジアトップ一〇〇へのランクアップなど掲げていますが、今後も各年度でこうした指標の達成状況を

を検証することで、中期計画の実行性を高めてまいります。

連合駿台会の皆様におかれましては、これまでも広く社会の発展に貢献され、本学の評価を大きく高めていただいております。今後とも、母校明治大学が教育研究の質を一層高め、日本はもろろん世界で輝き続けるために、引き続きのご指導とご支援を賜りますようお願いを申し上げます。

皆様にとりまして、この一年が幸多き年となりますことを祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



明治大学を圧倒的存在にするために

明治大学
学長
土屋 恵一郎



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。学長に就任して二年が経とうとしています。この二年間はこれまでやり残したものの、引き継いだ課題を解決する二年でした。収容定員の増加や学費の改訂を実施し、将来的に新しいプロジェクトを進めていく上でも、財政的な基盤を整備できたと思っています。

他方、研究の面では、二〇一六年度に先端数理科学インスティテュート(MIMS)の取り組みが「私立大学研究ブランディング事業」に採択されたこともあり、全体の動きとして、各学部が研究プロジェクトをどのように作っていくのかという機運が高まったと一年だったと思います。昨年十一月二十三日には明治大学の研究成果を社会へ発信することを目的とした初めての試み「明治大学アカデミックフェス」を実施し、一〇〇〇人を超える来場がありました。今後は、教員が研究に時間を費やすことができるように転換していき、いずれは、「あの明治が、今やナンバー1の研究大学」と言われるように、研究型大学として新しい一面を見せていきたいと考え

ています。教育の面では、「海外トップユニバーシティ留学奨励助成金」を新設し、欧米のトップスクールへの留学者に対する奨学金を年間で総額五〇〇〇万円用意しました。優秀な学生を世界に送り出すためには、大学が奨学金を含めた様々な形のサポートを地道に続けていくことが、とても重要なことだと思っています。

残された任期はあと二年ですが、課題はまだあります。私としては法人とともに連携しながら、中野キャンパスの第二期工事やスポーツパークの整備などを着実に進めていきたいと思っています。また、和泉キャンパスや生田キャンパスにおいても、新たな教育・研究施設の他、既存施設のバリアフリー等の問題があります。これらに対応するには、キャンパス体制の合理化も含めた整備計画を準備していく必要があると考えています。これまでの理事会から引き継いだことをしっかりと任期中に解決し、次の四年間の準備をする。自分の任期の四年間だけではなく、創立一五〇周年となる二〇三一年までを見据えて考え

なければ本学のあるべき姿は描けません。人と教学がいわば二頭立ての馬車のように、それぞれのパートを補完し合いながら、強い力をもって前進していきたいと考えています。

これからの社会が求める、さらにはその先を行く新しい形の教育・研究を導き出すためにも、必要な施策を提案してまいります。そして明治大学の根幹をさらに強化していく所存です。新年をこの希望へとつなげるために、連合駿台会の皆さまとも活発な議論を今後も交じりたいと思っています。共に前へ進みましょう。

結びにあたり、連合駿台会のみましますの発展と会員各位のご多幸を祈念いたしました。新年のご挨拶とさせていただきます。





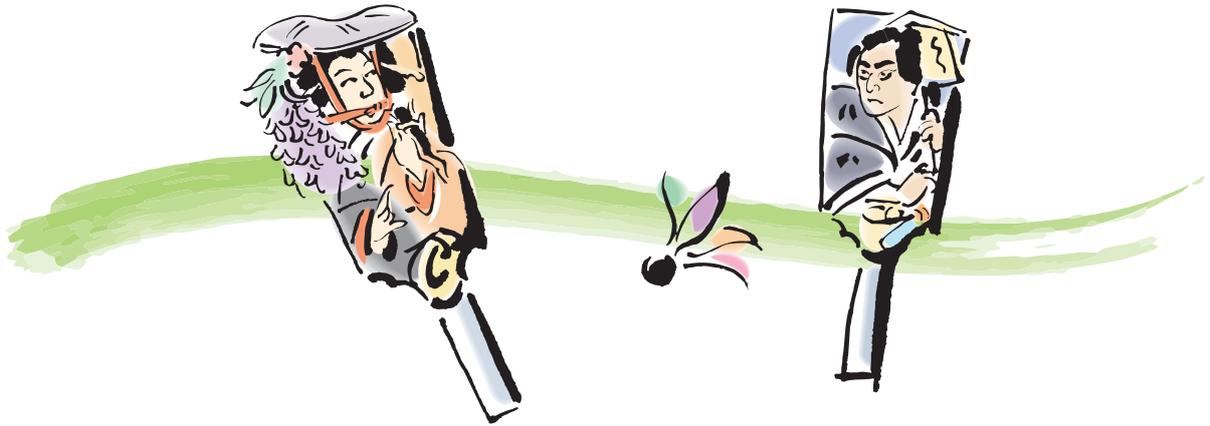
謹賀新年



| | | |
|---|---|--|
| <p>TCI株式会社 代表取締役 <small>あぐつ</small> 坏 昭二</p> <p>〒150-0011 渋谷区東二二七-1-10 TEL 五四六七-0036 FAX 五四六七-9347 E-mail:shojak2@tcj.co.jp</p> | <p>足立会計事務所 税理士 足立吉松</p> <p>〒410-0832 静岡県沼津市御幸町二四-1-30 TEL 〇五五-九三二-1639 FAX 〇五五-九三四-〇二二五</p> | <p>株式会社エービーコーポレーション 代表取締役 阿部倫明</p> <p>〒980-0004 仙台市青葉区宮町三十八-1-33 TEL 〇二二-227-0033 FAX 〇二二-225-1081</p> |
|---|---|--|

| | | | | |
|---|--|--|---|---|
| <p>株式会社ニチレイフーズ 取締役会長 池田泰弘</p> <p>〒104-8402 中央区築地六-1-91-20 ニチレイ東銀座ビル TEL 三三四八-1222 FAX 三三四八-1240</p> | <p>株式会社三井住友銀行 専任 執行役員 石井仁</p> <p>〒100-0005 千代田区丸の内-1-1-2 TEL 四三三三-2795</p> | <p>税理士法人あい&ゆう税務会計事務所 代表社員 石橋良一</p> <p>〒142-0022 品川区二葉二-24-9-10-1 TEL 三七八三-1271 FAX 三七八三-1275</p> | <p>三八五流通株式会社 常務取締役 泉山和久</p> <p>〒039-1189 青森県八戸市長苗代上中坪三五-1-1 TEL 〇一七八-127-4141 FAX 〇一七八-127-1509</p> | <p>前田道路株式会社 会長 磯昭男</p> <p>〒141-8665 品川区大崎一-1-1-13 TEL 五四八七-0012 FAX 五四八七-0041</p> |
|---|--|--|---|---|





株式会社カーセブンデイベロブメント

代表取締役
社長 井上 貴之

〒141-0032 品川区大崎二丁目1-1
大崎ウインズタワー23F
TEL 五三三六〇七三三五
FAX 五四三六〇七七六四

明治大学評議員・校友会副会長

岩田 守弘

〒520-0052 滋賀県大津市朝日が丘1-14-16
TEL & FAX 〇七七-五二六-〇八〇二

株式会社チュチュアンナ

代表取締役
上田 利昭

〒540-0003 大阪府中央区森ノ宮中央1-1-1
TEL 〇六-七七一-七六一-五五七
FAX 〇六-七七一-七六一-五六二

連合駿台会 専務理事

上西 紘治

〒244-0803 横浜市戸塚区平戸町七七五-1
TEL & FAX 〇四五-八二二-一六四三
(携帯) 〇九〇-三三三-一四七三九

ペップ・メイツ株式会社

代表取締役
大前 実之

〒103-0011 中央区日本橋大伝馬町1-4-10
TEL 三六六三-八八二七
FAX 三六六三-八八二八

安全と信頼の警備
タイヨー株式会社

最高顧問 大村 託現

〒124-0023 葛飾区東新小岩五丁目1-12
タクミビル2F
TEL 五八七五-七三三〇
FAX 五八七五-七三三六〇

株式会社アマダホールディングス

代表取締役兼
CEO 岡本 満夫

〒259-1196 神奈川県伊勢原市石田二〇〇
TEL 〇四六三-九六一-二二二
FAX 〇四六三-九六一-三三三五

富士建物管理株式会社

代表取締役
社長 長田 宇功

〒190-0021 立川市羽衣町三丁目1-1
TEL 〇四二-五二四-六五一
FAX 〇四二-五二四-六五一

株式会社ホテルグランドパレス

代表取締役
社長 河村 博

〒102-0072 千代田区飯田橋1-1-1
TEL 三三六四-一一一一
FAX 三三六四-五四九六

木下サーカス株式会社

代表取締役
社長 木下 唯志

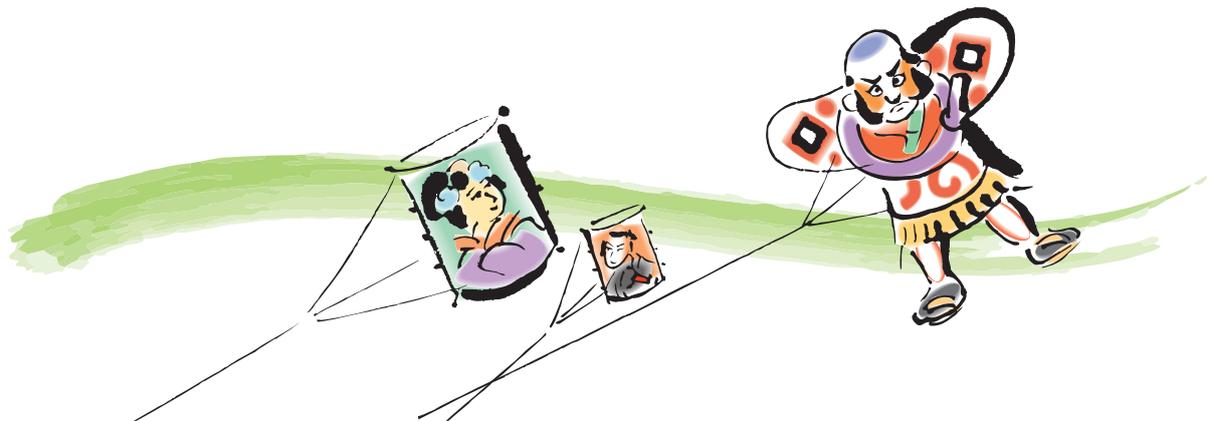
〒700-0822 岡山市北区表町三丁目三三-二三
TEL 〇八六一-三三一-四九七二
FAX 〇八六一-三三一-四九七二

総合物流をはじめとする多彩なサービスを
「お客様のご満足」と「安全」をモットーに
提供し続ける会社、それがアサガミです



アサガミ株式会社

本社: 東京都千代田区丸の内3-1-1
Tel (03) 6880-2200 fax (03) 6880-2230
http://www.asagami.co.jp/



野村不動産ホールディングス株式会社

代表取締役
グループCEO
沓掛 英二

〒163-0566 新宿区西新宿一―二六―二
新宿野村ビル

TEL 三三四五〇三九三

ユニテッドプレジデントテクノロジーズ株式会社
株式会社協成

代表取締役
社長
古賀 慎一郎

〒162-0843 新宿区市谷田町二―三三七
TEL 三二六〇―五三三二六
FAX 五二六一―七〇八五

城南不動産販売株式会社

代表取締役
会長
小島 清治

〒141-0022 品川区東五反田二―二〇―四
TEL 三三四四四―一―三三一
FAX 三三四四四―一―三三二
(携帯) 〇九〇―三―三七七―四三三三

小山税理士法人

会長
小山 修

〒342-0056 埼玉県吉川市大字平沼二六三
TEL 〇四八―九八二―〇三三六〇
FAX 〇四八―九八二―〇三三三九

東神興業株式会社

代表取締役
根田 吉雄

〒167-0043 杉並区上荻一―二三―一九
TEL 五三三三―五―六八六一
FAX 五三三三―五―六八六〇

明治大学マスコミクラブ

常任顧問
齊藤 柳光

〒330-0855 さいたま市大宮区上小町九四五
TEL 〇四八―六四四―〇〇八五
FAX 〇四八―六四四―〇〇三六

株式会社ザイナス

代表取締役社長
公認会計士
坂田 英夫

〒103-0027 中央区日本橋三―五―一―三
TEL 三三七五―一〇八〇八
FAX 三三七五―一〇八〇八
(株)明大サポート監査役

六興電気株式会社

取締役兼
執行役専務
坂本 孝行

〒105-0012 港区芝大門一―一―三〇
TEL 五四〇四―四六七六一
FAX 五四〇四―四六七七一

株式会社シテイ・ハウジング

代表取締役
会長
佐藤 仁

〒144-0034 大田区西糀谷四―二八―一八
TEL 三七四二―七六〇七
FAX 五七〇五―一八〇九七

創業昭和五十六年
東都ゴルフ・株式会社東都ジャパン

代表取締役
杉浦 伸二

〒103-0027 中央区日本橋三―八―一―〇
TEL 三三八一―一〇八〇一
FAX 三三八一―一〇八九〇

船用照明器具・船用配線器具・船用信号器具・船用配電盤
ヘリコプタ着船援助器具・高耐水性照明器具
ISO 9001:2008認証工場

— 信頼と実績に応え、未来に挑戦する集団 —

 **大石電機工業株式会社**

代表取締役社長 大石 哲也 昭和63年工学部卒業

〒140-0011 東京都品川区東大井2-17-9

TEL 03-3761-2166 (代表)・FAX 03-3761-4851

<http://www.ohishi-denki.co.jp>



株式会社旭屋

代表取締役社長 瀬戸正道

〒144-0051 大田区西蒲田七-四三-一
TEL 三三三-四一七-一一
FAX 三三三-四一七-一一五

北斗産業株式会社

代表取締役 園田英次

〒520-3252 滋賀県湖南市岩根六七八-一五五九
TEL 〇七四八-七五-八四二一
FAX 〇七四八-七五-八四二四

学校法人新潟大原学園

校理 長 高橋 淑 浩

〒950-0086 新潟市中央区花園一-一三一三
TEL 〇二五-二四六-八八八八
FAX 〇二五-二四六-一一八八

連合駿台会 会長

田村 駿

〒154-0012 世田谷区駒沢二-四三-一三
TEL 〇九〇-四三七-〇一五三五二
FAX 三二二-二一一-〇八三三

明治大学金融紫紺会

副会長 当山明彦

〒101-8301 千代田区神田駿河台一-一
(中村真理子研究室内)

徳丸織物株式会社

代表取締役 徳丸平太郎

〒335-0001 埼玉県蕨市北町三一五一-四
TEL & FAX 〇四八-四四三-二〇五〇

株式会社ナガセインテグレックス

代表取締役社長 長瀬 幸 泰

〒501-2697 岐阜県関市武芸川町跡部二-三三三-一
TEL 〇五七五-一四六-一三三三三
FAX 〇五七五-一四六-一三三二五

中根税務会計事務所

税理士 長 中 根 武

〒170-0003 豊島区駒込一-一-二二-一六
TEL 三九四-五-一八五九四
FAX 三九四-五-一八五四一

株式会社ナガホリ

会長 長堀 守 弘

〒110-8546 台東区上野一-一五-一三
TEL 三三三-六-四七-一三
FAX 三三三-五-〇八-一五

株式会社ナミキ

代表取締役 並木 洋 一

〒175-0094 板橋区成増三-一-二二-一
TEL 三九三-九-〇〇-二八
FAX 三九七-五-〇〇-五六



『防水と屋上を総合的にプロデュースする』

総合防水材料メーカー

日新工業株式会社

〒120-0025 東京都足立区千住東2丁目23番4号

TEL 03-3882-2424

代表取締役社長 相臺 公豊

専務取締役 相臺 志浩



ミズ太郎



ひらかわ環境デザイン
 所長 平川 清
 〒343-0117 埼玉県北葛飾郡松伏町田中一五五一
 TEL&FAX 〇四八一九九一一二九三六
 明建会(明治大学理工学部建築学科OB会)会長

株式会社バンダイロジカル
 代表取締役社長 馬場 範夫
 〒124-8585 葛飾区東四つ木四一四二一五
 TEL 三六九五一一五一一
 FAX 三六九五一一五二六〇

ネットトヨタ水戸株式会社
 取締役社長 幡谷 公朗
 〒310-0851 水戸市千波町一九八八
 TEL 〇二九一四一一三一一
 FAX 〇二九一四三三二六四四

西山商事株式会社
 代表取締役社長 西山 武夫
 〒201-0004 狛江市岩戸北四一一九一一二
 TEL 三四八〇一四二二〇
 FAX 三四八〇一四三六五

公益財団法人新聞通信調査会
 理事長 西澤 豊
 〒100-0011 千代田区内幸町二一〇二一
 日本プレスセンタービル一F
 TEL 三五九三一一〇八一
 FAX 三五九三一一二八二

株式会社ニートRV
 取締役 松崎 優子
 〒279-0011 千葉県浦安市美浜三一一九一四
 TEL 〇四七一一三五一一六八六二

本間美邦税理士事務所
 所長 本間 美邦
 〒102-0083 千代田区麹町四一三一五
 紀尾井観光ビル
 TEL 三二六五一一六一
 FAX 三二六五一一〇七

弁護士 堀越 孝

メトロ電気株式会社
 代表取締役社長 藤巻 伴英
 〒101-0063 千代田区神田淡路町一一九一四
 TEL 三二五三三〇三六
 FAX 三二五三三三九四

フジ企画株式会社
 代表取締役社長 藤代 耕一
 〒221-0021 横浜市中区子安通一三三三六
 TEL 〇四五一四三三〇一〇〇一
 FAX 〇四五一四三三〇一〇〇〇

寒中見舞いはがき 印刷承ります

株式会社 マイプリント
 〒206-0025 東京都多摩市永山6-11-11
 Tel 042-337-8111(代表) Fax 042-337-8121
 http://www.myprint.co.jp



ハードプロテクト株式会社

代表取締役
会長 宮下 隆

〒170-0005 豊島区南大塚三―三二―一〇
TEL 五九五〇―六六五一
FAX 五九五〇―六六五二

ダイニチグループ

代表取締役 六井元一

〒279-002 千葉県浦安市北栄一―一六―三
DNプラザビル
TEL 〇四七―三五四―〇一三三
FAX 〇四七―三五四―〇一九
<http://www.dainichi.co.jp>

明治大学校友会 名誉会長

村山富市

〒870-0033 大分市千代町三―二―二
TEL&FAX 〇九七―五三二―〇〇三三

株式会社やまたけ

代表取締役
社長 山口 大介

〒123-0841 足立区西新井五―三五―一三
TEL 三八九九―三三七七
FAX 三八九九―四六七二

株式会社不二家

代表取締役
会長 山田 憲典

〒112-0012 文京区大塚二―一五―一六
ニッセイ音羽ビル
TEL 五九七八―八三三三
FAX 五九七八―八六三三

株式会社日本金属工芸研究所

取締役会長
彫刻家 山田朝彦

〒113-0023 文京区向丘一―一六―一二
TEL 三八一一―七七〇九
FAX 三八二二―〇〇〇三

金魚の吉田 株式会社ヨシダ

代表取締役 吉田 信行

〒124-0023 葛飾区東新小岩五―一四―一七
TEL 三六九四―三七五一
FAX 三六九四―三七五三

株式会社東京精密

代表取締役社長
兼CEO 吉田 均

ACCURETECH
〒192-8515 八王子市石川町
TEL 〇四二―六四二―一七〇一
FAX 〇四二―六四二―一七九八

桜神宮

宮 司 芳村 正徳

〒154-0014 世田谷区新町三―二―一三
TEL 三四二九―〇八六九
FAX 三四二九―七四五二

株式会社洋日

代表取締役 渡邊 洋三

〒359-0038 埼玉県所沢市北秋津七三九―一六二
COZYレジデンスーF
TEL 〇四―二〇〇八―二九八八
FAX 〇四―二〇〇八―二九六六



大学と校友の皆様のかけ橋となります。
本年もよろしくお願いたします。

(株)明大サポート (明治大学外郭事業会社)

設立 1996年1月22日
〒101-8301東京都千代田区神田駿河台1-3-1
明治大学学生会館地下1階
Tel:03-5280-1500 Fax:03-5280-1505
ホームページ<http://www.meidai-support.com>



明サポ情報満載

明大サポート公式アプリ



連合駿台会十一月例会

講師 神田 蘭 さん



連合駿台会恒例の一足早い忘年例会が、百人を超える参加者のもと、十一月十五日（水）十七時四十五分より、明治大学紫紺館で、女性講師の神田蘭さんをゲストスピーカーとして開催しました。

当日の講演は二つ。一つは古典もの、もう一つは創作もので、要旨は以下の通りです。

西行鼓ヶ滝

「西行鼓ヶ滝」（さいぎょうつつみがたき）は、古典上方落語でも有名な演目の一つ。

歌の名所である、摂津の鼓ヶ滝に来た西行。「伝え聞く鼓ヶ滝に来て見れば沢辺に咲きたんぼの花」と歌を詠んで悦に入っているうちにあたりが暗くなってしまい、あわてて近くの民家に宿を借りる。

ところがそこに住んでいた媼（おうな）、婆、娘の三人に、自作の歌を「音に聞く鼓ヶ滝をうち見れば川辺に咲きたんぼの花（白百合の花）」と手直しされてしまう。素人の口出しとはいえ、元の歌より良くなっていることを認めざるを得ず、西行は自分の修行の足りなさをつくづく実感する。

ふと気づくと、あたりはまだ昼で、宿も何もない。西行は滝のほとりで、夢を見ていたのだった。実はこの三人は和歌三神（住吉明神、人丸明神、玉津島明神）の化身で、慢心した西行を戒めるために現れたのだった。

落ちこぼれとして初心に帰った西行はやがて日本一の歌人となった、という語り落ちと、神に対し無礼を働いたのではと罰を恐れる西行に、一部始終を聞いた木こりが「恐れることはない。この滝は鼓でバチ（撥）は当たらない」という地口落ちがある。

織田信長と吉乃

常に戦国武将人気ランキングで上位に入る信長が最も愛した女性が、六歳年上の未亡人・吉乃（きつの・生駒の方）。吉乃は元々、土田御前（信長の母）の甥である土屋弥平次に嫁いでいたが、弥平次が戦死し、吉乃が未亡人になってしまった頃に、その存在を知った信長の恋心はどんどん膨らんで行く。

吉乃は馬借（ばしゃく・馬を使う運送業）を営む生駒家宗の長女だったのだが、弥平次

が死んでからは生駒家に戻っていた。そして信長は、当時の居城であった清州城から十^{キロ}離れた生駒家まで馬を駆けて通ったという。若き日の信長は毎日馬で山野を駆け巡り地形を頭に叩き込んでいたのだが、そのついでに生駒家に通う日々だったのかもしれない。

吉乃はその後、信長の側室として迎えられて、嫡男・信忠、次男・信雄、長女・徳姫（家康の嫡男・信康の正室）を産むのだが、吉乃は元来体が弱かったため、出産することに体力を失っていき、病に伏せるようになってしまう。信長は吉乃のために名医を呼び、金に糸目をつけず吉乃のために薬を入手した。時には吉乃を支えながら歩き家臣団がいるところまで連れて行き、家臣たちに紹介することもあったようだ。普段は激烈な信長の姿ばかりを見ている家臣たちは、信長のその優しい姿を見てさぞや驚いただろう。だが吉乃の病状が良くなることはなく、他界する。

吉乃を亡くした数年後、信長は比叡山を焼き討ちに、浅井父子・朝倉義景の髑髏を金箔で飾り、荒木村重一族を皆殺しにするわけだが、もしかしたら吉乃を失った深い悲しみを誤魔化すために愛情とは真逆の行動を取り続けたのかもしれない。信長が冷徹なだけの人物ではなかった一面を物語る逸話で、彼にこれほど愛され、吉乃はきつと幸せな最期を迎えたのではないだろうか。



◆広報委員会からのご案内(理事会議事録)

日時…平成二十九年十一月十五日(水)十七時
場所…明治大学「紫紺館」(二F会議室)

★「大学支援のあり方検討委員会」答申書受理

五月十九日の理事会において、「連合駿台会大学支援寄付金窓口開設検討委員会」は発展的に解消されたが、大学支援そのものを幅広く検討しようという意見をもとに、新たに「大学支援のあり方検討委員会」が設置された。そして、本日が答申を受ける日である、

との説明が田村会長からあり、武田宣夫委員長から答申書が授与された。

その後、田村会長から次のような挨拶があった。

六カ月もの長い期間、鋭意ご検討いただいた二十四人の委員の方々には心からお礼を申しあげたい。今後は当会ですぐ取り上げられるもの、近い将来に可能であると思われるもの、当面は困難かと思われるものなどに分類することを検討し、来年の三月を目前に、委員の皆さま方にご報告したいと思っている。なお、答申書の写しは事務局に備えつけておくので、ご希望の方はご覧いただきたい。

○新入会員承認の件

高澤組織・会員増強委員長から、本日は宮嶋優光氏(株)ジャパンスポーツ・代表取締役、主推薦者…畠中君代(会員)、鈴木章浩氏(鈴木&パートナーズ法律事務所・代表弁護士、主推薦者…長谷川進(理事)、狩野省市氏(NTTデータシステム技術(株)・参与、主推薦者…上田廣一(顧問)の三名が推薦されており、委員会では全員について入会を承認した、という報告があった。これに関して、全員異議なく承認された。

○各委員長より報告事項

各委員会から、順次報告があった

〈総務・事業委員会 河村委員長〉

前回の理事会以降の開催行事についてご報告する。十月十八日には第九回ビジネス勉強会を開催。十月二十八日には親睦バス旅行で、昇仙峡見学とイタリアンレストラン・キングスウェル(当会会員の村中豊氏の甥御さんが社長)での昼食、サントリー登美の丘ワイナリーの見学を催行したが、当日は生憎の天候であったにもかかわらず、帰りのバスの中ではワインで大いに盛り上がった。十一月七日には戸塚カントリー倶楽部にて恒例のオープンゴルフコンペを二十二名の参加のもと開催した。十二月七日には正副会長会を日本工業倶楽部において開催する。

年明けは、二〇一八年一月十八日(木)には駿台懇話会、二月七日(水)の運営委員会終了後に、新入会員歓迎会を開催する。二月十六日(金)には第二回のグルメ交流会を開催(於…上野広小路「今半」)、これは従来の立食パーティ形式の例会とは違った着席形式で、食事をしながら会員の懇親を深めるものである。三月十四日(水)の例会の講師は宿輪純一氏(エコノミスト・映画評論家)でほぼ決まり。四月には第十回のビジネス勉強会(日程・講師ともに調整中)、オープンゴルフコンペ(於…鷹之台カントリー倶楽部、日程調整中)を開催の予定である。

〈組織・会員増強委員会 高澤委員長〉

現在の入会状況についてご報告する。今年度の入会者は二十九名で、さらに本日ご承認いただいた三名を加えて計三十二名ということになる。うち、二十二名が会員の皆さまからのご推薦で、今後ともご支援・ご協力をお願いしたい。四月一日時点での会員数は三百三十一名、うち退会者は六名、入会者は実質三十二名ということで、現時点での会員総数は三百五十七名という状況にある。

〈広報委員会 齋藤委員長〉

ホームページのリニューアルについて、本日十一月十五日から再オープンした。最大の特徴は、①スマホでも見やすくなったこと、②今後の開催行事を、決定次第アップしていくこと、③入会推薦書がPDFとエクセルでダウンロードできるようになったことである。これを大いに活用していただきたい。

〈大学支援委員会 浅井委員長〉

「学術賞・学術奨励賞」は十月十七日に締め切られ、社会科学二件、人文科学三件、自然科学五件、合計十件の応募があった。これは昨年度より二件多いが、応募件数を増やすための試行錯誤を重ねたものあまり成果が得られず、今後課題が残った。「寄付講座」(秋期)は十一月九日に開催。ただ、当会メンバーの参加が少なかったことが、やや気になった。「フューチャースキル養成講座」は、

現在、商学部・経営学部を対象に行ってきたが、経営学部より一講座増設の要望があり、来年からは協賛企業八企業で行うこととほぼ決定している。「留学生支援」は、二〇一八年一月三十一日に田村会長にも列席いただき、秋期修了式が行われる予定。協賛「文化支援活動」三件については、昨年同様、つづがなく終了した。

〈財務委員会 坂田委員長〉

現在の会員数から、退会者・休会者・名誉会員・特別会員を除くと、年会費納入者実数は三百四十七名ということになる。うち普通会员が二百八十七名、地方会員が六十名、直近の年会費の納入額は1240万4028円で、いまだ振込手数料を引かれて納入される方がいるため、半端な数字に数字になってしまっている。未納の方に関しては、これから再請求をさせていただくことになる。

以上

◆新入会員ご紹介

前回までの理事会で承認され、入会された方をご紹介します。(到着順・敬称略)



狩野 省市
かりの しょういち
 昭和五十二年・政経学部卒
 NTTデータシステム技術株
 参与
 東京都練馬区在住



鈴木 章浩
すずき あきひろ
 平成十三年・法学部卒
 鈴木&パートナーズ法律事務所
 代表弁護士
 東京都品川区在住

◆明大ニュース

●朝日みらい教育フォーラム2017

早慶明のトップが私立大学の未来を語る

朝日新聞社主催の朝日みらい教育フォーラム2017「私立大学の未来を考える―量から質への転換に向けて―」が十二月十七日、東京・恵比寿のEBIS303イベントホールで開催され、明治大学、慶應義塾大学、早稲田大学のトップが出席。基調講演やパネルディスカッションを通して、私立大学の未来について議論を深めた。

基調講演は「大学トップ、私立大学の未来を語る」をテーマに行われ、慶大の長谷山彰塾長、早大の鎌田薫総長に続いて土屋恵一郎学長が登壇した。土屋学長は、「混合交流する未来大学へ」シンガポールインパクトからの出発」と題し、自身が視察したシンガポール・南洋理工大学のラーニングセンター「THE Hive」のコンセプトを例に挙げ、主体的な教育について言及。また、創立者の一人・岸本辰雄が「服従の教育からの離脱」を掲げていたことを紹介し、「自ら知識

を求め、それを基に発想しながら主体的、批判的な精神を持った人材が新しい時代に求められている。それを実践する教育が、明治大学主義だ」と力説した。他にも、アセンセンターや中野キャンパスでの取り組みの紹介や、3D映像を用いた遠隔授業のデモンストラーションを行うなど、明治大学が未来に向けて教育・研究を力強く推進していく姿勢を示した。

休憩を挟み行われた、登壇者三人と(株)ニチレイ相談役の浦野光人氏によるパネルディスカッションでは、「私学の未来像を考えるー量から質への転換にむけてー」を主題に討論。グローバル化や技術革新、十八歳人口の減少など、大学を取り巻く環境が変化する中、「教育の質を高める」「大学教員の役割」「私立大学に何ができるか、何をすべきか」の三つの話題について、自校の取り組みや産業界からの視点、具体的な事案などを示しながら、白熱した議論が展開された。

●公認会計士試験

明治大学から現役学生四十四人が合格

金融庁の公認会計士・監査審査会は十一月十七日、二〇一七年の公認会計士試験合格者を発表した。最終合格者数は一二三一人(前年一一〇八人)で、合格率は一一・二%(前年一〇・八%)だった。今回合格した、明大

出身の合格者は六六人(十二月七日現在、明治大学経理研究所調べ)。現役学生は商学部二六人、政治経済学部六人、理工学部一人、経営学部九人、会計専門職研究科二人の計四四人(前年四五人)。このうち、神藤優介さん(政経3)は論文式試験の成績が全国一位、高橋佑維さん(商2)、山本景斗さん(商2)は最年少の合格だった。

この発表を受け、経理研究所は十二月七日、本学の公認会計士養成機関である経理研究所特別会計研究室に所属し、現役合格した学生四二人を対象とした報奨金授与式を駿河台キャンパス・岸本辰雄ホールで執り行った。

授与式では、冒頭、山本昌弘経理研究所所长(商学部教授)があいさつに立ち、「国際会計基準の適用により、世界でも活躍することができる、自分だけのアドバンテージを作って、世界にも通用するような会計士になってほしい」と激励。合格者を代表して高橋佑維さん(商2)に報奨金目録が、合格者一人ひとりに表彰状が山本所長から授与された。

合格者代表として謝辞に立った内堀太朗さん(経営3)は、経理研究所への感謝や試験勉強に取り組んだ日々を振り返るとともに、「社会に必要とされ、信頼される会計士になれるよう、初心を忘れず謙虚に努力していきたい」と今後の飛躍を誓った。

●OB社長

▽静岡メイカンII小寺仁康氏(二〇〇五年経営学部卒・三十七歳)

●OB町長

▽鹿児島県錦江町長(十一月二十六日投票) 木場一昭氏(無所属①、一九八一年法学部卒・六十歳)

▽高知県梶原町長(十二月三日投票)

吉田尚人氏(無所属①、一九八三年法学部卒・五十七歳)

●「明治大学アカデミックフェス」を初開催

本学初めての試みである「明治大学アカデミックフェス二〇一七」が十一月二十三日、駿河台キャンパスで開催された。明治大学の研究者たちによる、学問分野や領域を越えた共創的研究の促進と発信を目的とした今回のイベントには、学生、研究者ら千人以上が来場し、知の最先端を体感した。

メインステージとなったアカデミーホールでは、土屋恵一郎学長が冒頭あいさつに立ち、「大学は知恵のアッセンブリー(集合体)である。最先端の研究に触れることで、今後の人生や研究の足掛かりにしてほしい」と開会を宣言した。

午前中は建築家・隈研吾氏と土屋学長による対談、若手研究者によるシンポジウム

「知」のリブランディング」を開催。午後
は、「地域社会」「生活・健康」「知」の回廊
シノドス」をテーマにした研究者たちによる
九つのイノベーションフォーラムと、先端研
究の展示、海外留学体験報告のブース、企業
とのマッチングコーナーが設けられた。ま
た、グローバルフロントでは、マンガ文化の
保存拠点計画、社会的価値向上に向けたイノ
ベーションをテーマにしたシンポジウムが催
されるなど、多様な領域にわたって「魅力あ
る社会をつくるための明治大学の次の一手」
が発信された。

隈研吾氏と土屋学長が対談

「グローバル時代における日本文化と創造」
をテーマに建築家・隈研吾氏による基調講演
が行われた。隈氏は、那珂川町馬頭広重美術
館（栃木県）をはじめ自ら手掛けたいくつか
の作品について、スライドを示しながらその
デザインやアイデアの源泉などを詳細に解
説。参加した学生たちはメモを取りながら熱
心に耳を傾けた。

その後、小林正美副学長（総合政策担当）
の進行の下、隈氏と土屋学長による対談が行
われた。「負ける建築」と呼ばれる、景観と
調和し、素材の特性を生かす独自の手法や、
日本における建築家の創造性の変遷などが語
られ、ブラジルの「ジャパン・ハウスサン

パウロ」や二〇二〇年東京五輪のメイン会場
となる「新国立競技場」など隈氏が設計した
最新の事例などにも話題が及んだ。隈氏は、
「日本の中には建築のヒントになるものが多
い。日本の伝統と現代的な要素をつなぐこと
ができれば、世界に対して面白いものが発信
できるのでは」とメッセージを送った。

「知」のリブランディング

続いて行われた若手研究者によるシンポジ
ウム「『知』のリブランディング」では、パ
ネリストとして飯田泰之政治経済学部准教
授、鞍田崇理工学部准教授、宮下芳明総合教
理学部教授の3人と、コメンテーターとして
評論家の宇野常寛氏が登壇。門脇耕三理工学
部専任講師がコーディネーターを務めた。

本シンポジウムは、情報技術の発展や人口
減少といった社会の変化に伴い、これまで分
野ごとに細分化されてきた学問（「知」の今
後のあり方を問うというもの。パネリストの
研究テーマや取り組みについて紹介があつた
後、大学の現状や課題、これからの大学の役
割などについて議論が行われた。宇野氏は
「大学は単に学際を求めるのではなく、『知』
を生み出すハブ的役割を果たさなければなら
ない」と総括するとともに、新しい大学にお
ける「リベラルアーツ再構築」の重要性を説
いた。

●連合駿台会寄付講座 ユーハイムの河本社長が講演

リバティアカデミーは十一月九日、連合駿
台会寄付講座「マーケティングに勝つクリエイ
ション」を再生し続けるブランド」を駿河台
キャンパス・グローバルホールで開催した。

講師を務めたのは株ユーハイム代表取締役
社長の河本英雄氏（一九九四年商卒）。パウ
ムクーヘンを日本で最初に広めたドイツ人菓
子職人のカール・ユーハイムが創業した同社
が、百年以上にわたりさまざまな洋菓子を世
に送り出し、いかにしてブランドを構築して
きたかを講演した。

同社のルーツである神戸には、第一次世界
大戦後のドイツ人捕虜が在住していたことか
ら「洋菓子店が数多く存在し、やがて、神戸
スイーツ」として全国に広がった」と紹介。
世界最古のデザートとも言われ、ドイツの伝
統的な菓子であるパウムクーヘンについて
は、自社プログラムにより一から菓子職人を
養成していることやオープン機器を社内製造
していることなどを明かし、「創業者のレシ
ピを変えることなく作り続けている。人づく
り、モノづくり、コトづくりを大事に、パウ
ムクーヘンの文化を守っていく」と菓子作り
への情熱をみなぎらせた。

後半では、SNSの普及により疑似体験に
よって買い物をする若者が多くなったことを

解説し、経験や体験を通した商品提案の重要性を力説。「神戸牛のミートパイ」、銀座最大の商業施設・GINZA SIXに誕生した「カフェ・ユーロップ」、世界に一つだけのパフェを提供する「フィリップ・コンティチーニ」などの先進事例を披露し、同社のブランド力の一端を示した。最後は、食品添加物を使うことが世の中の常識となっている中、使わずに製造することの難しさを解説した上で「純正・自然を求めることがクリエーション。そこを追求していきたい」と締めくくった。

●めんそ〜れ沖縄

「第五十三回全国校友沖縄大会」を挙行政

明治大学校友会は十一月十八日、沖縄コンベンションセンター劇場棟（沖縄県宜野湾市）にて第五十三回全国校友沖縄大会を「めんそ〜れ沖縄 いちゃりば兄弟 明治はひとつ」と銘打ち開催した。全国の校友会各支部、そして大韓民国支部から約九百人の校友とその家族が一堂に会した。

式典の進行は、ともに元琉球放送アナウンサーの小山康昭氏（一九七四年政経卒）と、宮城杏里氏（二〇一三年文卒）の二人が務め、硬式野球部OBの真壁朝之氏（一九八七年法卒）が大会旗をもって入場した。

国歌および校歌の斉唱、物故校友への黙とうに続き、政岡玄章前沖縄県支部長（一九六

四年経営卒）が声高らかに開会宣言。さらに、宮里博史沖縄県支部長（一九七四年法卒）があいさつに立ち、沖縄県が日本への復帰四十五周年を迎えたことを紹介し、「沖縄は戦争時の不幸、復帰前後の混乱など幾多の困難を乗り越えて目覚ましい発展を遂げた。豊かな自然、独特の歴史や文化などを堪能いただき、心に残る大会になれば」と参加校友を歓迎した。大会会長の向殿政男校友会長は、関係者や参加者への謝意を表した上で、「母校を支援することが我々の誇り。その一例がこの全国校友大会なので、存分に楽しんでいただきたい」と校友会のますますの発展と母校への支援を呼びかけた。

続いて、柳谷孝理事長と土屋恵一郎学長が登壇し、それぞれ近年の本学の取り組みの紹介や今後の決意などについて語った。来賓の翁長雄志沖縄県知事は欠席のため、浦崎唯昭副知事が祝辞を代読。さらに、佐喜眞淳宜野湾市長、波多野宏一連合父母会長がそれぞれ祝辞を述べた。全国支部を代表して、安井克郎石川県支部長が登壇し、二〇一八年九月三十日に開催される「第五十四回全国校友石川大会」のPRを行った。最後は、明大ならびに校友会の発展を祈念して万歳三唱。山川健沖縄県副支部長のあいさつで閉会となった。

続く第二部の記念講演では、琉球大学名誉教授の高良倉吉氏が「琉球王国とアジア諸国

との交流」をテーマに基調講演。さらに、波照間永子情報コミュニケーション学部准教授が「琉球・韓国の舞踊における比較研究と共創」と題して登壇し、琉球古典舞踊や、韓国創作舞踊、さらには両者の共同制作作品の解説と、自身も参加して実演を披露した。異国情緒漂う色鮮やかな衣装や流麗な舞踊に、校友らから熱い拍手が送られ、記念講演は幕を閉じた。

●柔道部

小川選手が「講道館杯」初制覇

100kg超級代表へ名乗り

体育会柔道部の小川雄勢選手（政経3）は、十一月十二日に行われた平成二十九年度講道館杯全日本柔道体重別選手権大会（会場 千葉ポートアリーナ）に出場し、100kg超級で優勝を果たした。

二〇一八年開催される世界柔道選手権大会の日本代表選手第一次選考も兼ねて行われた今回の講道館杯。決勝まで駒を進めた小川選手の手相手は、ロンドン五輪代表で明大柔道部出身の先輩・上川大樹選手（京葉ガス、二〇一三年経営卒）だった。練習で何度も対戦していることもあり、開始からけん制し合いながらの展開が続いたが、中盤に一瞬の隙をついた小川選手が豪快に大内刈りを決め、見事一本勝ち。うれしい講道館杯初制覇となっ

た。さらなる高みを目指し、世界の最重量級のライバルたちに挑む。

◆駿台トピックス

●「サンデー毎日」に掲載

サンデー毎日（二月二十一日号）、シリーズ「大学同窓会の研究」明治大学編①に、『村山富市元首相が語る「体が動く限り、母校の役に立ちたい」という記事が掲載されました。

その中で、明治大学の「建学の精神は「権利自由、独立自治」で、それは現在の「個を強くする大学」という理念に継承されている。だが、「個」ばかりでなく、OB・OGたちの結束力も強い」と紹介されています。校友会と極めて良好な関係を持っている経済人らのOB・OG団体として当会が紹介され、田村会長も、写真付きで掲載されました。



◆十一月例会出席者

青木孝、青柳勝榮、秋山隆敬、坪昭二、阿部倫明、有賀隆治、飯田和人、石川均、石橋良一、石原道勝、石原裕司、泉山和久、伊東正博、同ご友人、上西紘治、宇川一夫、内川雄一郎、大石哲也、大野正美、大原幸男、大前実之、大村託現、奥岡征彦、鬼塚和也、小山哲郎、勝俣正義、金子圭太、栢森靖、荻部彰夫、河村章、河村博、神林光、木村健一、五味道雄、小山修、小山有彦、根田哲雄、齊藤弘之、齋藤柳光、三枝富博、坂田英夫、笹田学、佐藤和正、佐藤健、佐藤仁、佐野公哉、甚野捷、杉浦伸二、鈴木紘一、鈴木隆志、関孝夫、同令夫人、関根均、相臺志浩、高澤徹、武田宣夫、田口幸隆、田村駿、樽見俊之、常泉邦彦、天童美德（代理）、当山明彦、同ご友人、徳丸平太郎、富水流孝二、中川敏洋、長堀守弘、中村豊、並木洋一、二井康夫、西澤豊、西山武夫、二宮充子、根岸伸明、長谷川進一、同ご友人、畠中君代、羽生健一郎、馬場範夫、原田榮、日高憲三、平川清、廣渡眞（代理）、深代尚夫、同ご友人、福田和彦、堀越孝、前川一郎、榎野泰、松崎優子、摩尼和夫、水江博、同ご友人、宮下隆、村岡健、室井恵明、柳谷孝、山上雅隆、山口政廣、山田朝彦、山田勝、山田幸夫、弓野理恵、米山明広

【編集後記】

謹んで新春のお慶びを申し上げます。
今年箱根駅伝には不出場で、毎年日比谷通りで応援した者として、気の抜けた正月でした。

わが明治大学は私大の雄として文武両道の教育に徹して学生を育成、世の中に幾多の有能な人材を輩出してきた。明大体育会は野球、ラグビー、競走部など現在四十四部と応援団、そして「明大スポーツ新聞部」で構成されている。同部は一九五三年日本初の大学スポーツ新聞「駿台スポーツ」として発足し、二〇一一年に体育会に属し今年で創部六十五周年になる。運動部四十四部の活動の情報提供をする縁の下の力持ち的存在だ。部員は約四十名でひとり四つの競技を担当し、日々選手たちの活躍、休日返上で全国的遠征取材を手弁当で追いかけて、月一回発行の新聞となる。本当にその使命感を持って取材する姿に感銘を受けた。

毎年、スポーツ選手として約二百四十名が全国から選抜され入学しており、彼等の活躍ぶりは他の大学を圧倒している。昨年四月以降年末まで、全日本大学での優勝は卓球、射撃、柔道、水泳など十種競技で大活躍をした。皆さん、今年も明大各種スポーツの応援に参加して若返り、健康寿命を延ばしましょう！

また、政府は成長戦略として大学スポーツのビジネス化の制度設計を進めている。本学も学長特任補佐兼スポーツアドミニストレーターを任命して検討に入っている。以前の「スポーツパーク構想」と共に今後の進展を見守っていききたい。大学・父母会・校友会・連合駿台会が一丸となって、明治大学の総合力をさらに高めて行きましょう！

（有賀 隆治）